

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-5 環境保全の推進
---------	--------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

廃棄物対策課長 伊藤 耕

電話番号

0852-22-6173

事務事業の名称	事業者の3R推進事業	
目的	(1) 対象	事業者
	(2) 意図	廃棄物の排出量の削減、再生利用量増加に取り組んでもらう。
事業概要	県内における産業廃棄物の発生抑制や資源の循環利用を促進するため、産業廃棄物の発生の抑制、減量、リサイクルに係る施設及び設備を整備する事業者に対して、整備に要する事業費の1/3を補助する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 事業者に対する補助件数の割合	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 補助実績件数/補助予定件数	実績値	66.7					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	35,332	70,000
うち一般財源(千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

平成27年度の申請件数は2件であり、うち1件は複合的な施設であったことから一定の成果があったと言える。しかし、当初見込んでいた申請件数(3件)には届かなかったことから、募集時期及び周知方法について再検討を行う余地があると考える。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

平成27年度より補助限度額を従来の2千万円から3千万円に引き上げることで、事業費が比較的高額となるプラントなどの施設の導入を促し、リサイクル率の引き上げを図る。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

申請件数が少ない

②困っている状況が発生している「原因」

周知が十分でないこと

③原因を解消するための「課題」

周知方法の拡大を検討する必要がある

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

事業者による3Rの取り組みを促進するため、周知方法の拡大を含め、効果のある事業への支援を継続していく必要がある。

9. 追加評価(任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。